

お名前 (匿名)  
ご住所 亀山市  
発生時にいた場所 教室  
当時の年齢 9歳

私は昭和10年2月生まれです(亀山市在住)。地震があったとき教室の中にいました。地震が終わった頃に生徒は外へ出る様に先生からいわれました。私達は急いで校庭へ出ました。小学校一年生ぐらいの生徒が外へ出るのも怖いか泣いていて、教室の窓から先生方に助けられて外へ出るのを見ました。すごく怖かったです。家へ帰ったら祖母の話では、家の近くの畠にいて、昼になったから帰ろうと(ふご)わらであんだ荷物を入れるものを背中にしょって、立った時に立てなくて、地面に何度もころころろげて立てなくて、これは何だろうと、あたりを見廻したら近くに見える家が揺れていたのです、初めて地震だという事にきが付いたそうです。家へ帰ったら私達の家はどの家も石垣が積んで有りましたが、2メートル以上もある石垣が幅2メートル程こわれていました。

父は兵隊で出世していましたので祖父母と母子供5人の貧困家庭でしたので寂しかったです。

又、20年の1月の夜中にも地震が有って祖父がふとんをかぶって寝ている様に言ったので、子供達はふとんの中で震えていました。私は現在でも地震が有っても体が動かなくて外へ出る事は出来ません。そのまま地震の納まるのを待っています。今はもう年齢も重ねておりますので、死に対する怖さは有りませんので、家を直す気も有りません。